

パラバドミントン選手 山崎悠麻さんを紹介①

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が来年に迫っています。パラスポーツはまだ知られていない魅力がたくさんあります。当調査会では、多摩・島しょ地域におけるパラリンピックをより一層盛り上げるため、パラバドミントン選手である山崎悠麻さん(日野市在住)を1・2月号の2回にわたってご紹介します。

本号では、山崎選手が競技を始めたきっかけや、競技の魅力等についてご紹介します。



	やまざき ゆま 山崎悠麻さん
	1988年生まれ。日野市在住。NTT都市開発株式会社所属。夫、子ども2人(6歳、4歳)と4人家族。
2018年7月	タイパラバドミントン国際大会 シングルス・混合ダブルス優勝 女子ダブルス準優勝
2018年9月	ヒューリック・ダイハツJAPAN パラバドミントン国際大会(東京都町田市) シングルス・女子ダブルス・混合ダブルス優勝
2018年10月	インドネシア2018アジアパラ競技大会 シングルス・混合ダブルス3位

Q 競技を始めたきっかけはなんですか。

A 小学校2年生から中学校3年生まで、バドミントン部に所属し、練習に励んでいました。小学校6年生の時には、ダブルスで全国大会に出場したこともあります。2004年の高校1年生の時に事故に遭い、両足膝下の機能を失いました。

事故後はリハビリや学校への復帰など、目の前のことに精一杯でした。脊髄を損傷していたこともあり、寝たきりの状態から始まりました。座ることも難しい状態から、徐々に車いすに移れるまでに回復していきました。しかし、スポーツや競技から離れていました。2008年に調布市役所に就職し、主に庶務業務を担当していました。在職中、結婚出産を経て、育児と仕事の両立で忙しく過ごしていましたが、競技を再開するきっかけとなったのは、2013年に町田市で開催されていた全国障害者スポーツ大会でパラバドミントンの試合を見たことです。友人に誘われてたまたま観戦したのですが、これをきっかけに、バドミントンをもう一度始めたいという気持ちが大きくなり、この年に練習を開始しました。第2子妊娠出産のため、練習を休止したものの、2014年から競技生活を本格的に再開しました。2016年にアイルランドで開催されたパラバドミントンの国際大会のシングルスで初勝利を収めました。

Q 競技の魅力はなんですか。

A 障害の程度によりクラス分けされているため、クラスごとにそれぞれ面白さがあります。健常者や立位の試合ではスマッシュを打つ場面が人気となっていますが、車いすのカテゴリーにおいて、シャトルが速く戻ってきちゃうスマッシュは有効打になりづらい場合が多いです。それ以上に車いすを操作する(チェアワーク)技術が得点源となるため、相手を前後に揺さぶる駆け引きが見どころです。この駆け引きは、間近で見ると迫力があります。手にマメができたり、爪が割れたりするほど激しい時もあります。

Q 競技について広めていきたいことはありますか。

A パラバドミントンは、まだまだ知られていないスポーツなので、まずは存在を知っていただきたいです。私たちは応援されるのが一番の励みになります。海外での試合が多く、日本での試合は少ないのですが、機会がありましたら、見に来ていただくと嬉しいです。競技人口が増えるほどレベルが上がるため、認知度向上により、競技人口が増えることを期待しています。車いすバドミントンは転倒することはほとんどなく、初心者でも挑戦しやすいスポーツですので、車いすの方もぜひチャレンジしていただきたいです。

2013年からバドミントンを再開し、2017年には国際大会で優勝するなど、目覚ましい活躍を見せる山崎選手。次号では、普段の練習の様子や意気込みなどをご紹介します。

競技紹介

パラバドミントン

車いすと立位のカテゴリーに分かれており、障害によりクラス分けされています。ネットの高さは通常のバドミントンと同じです。車いすと立位の下肢障害の一部では、シングルス試合の際、コート半分を使用します。



【パラバドミントンについての問い合わせ先】
一般社団法人日本障がい者バドミントン連盟事務局
TEL 03-6808-5515
Email office@jpbpf.jp
ホームページ <http://jpbpf.jp/>



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



平成31年1月・2月開催予定の講座案内

179回

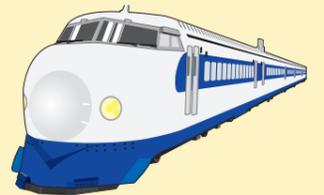
題名

新幹線誕生から50年の進化—日本人の知恵と技術と不屈の精神のたまもの

日時 平成31年1月10日(木) 14:30から約1時間

講師 福田 久治 氏(鉄道研究家(理学博士)・社会システム総研代表・元(公財)鉄道総合技術研究所)

内容 東京オリンピックが開催された1964年10月に開業した東海道新幹線は、世界の鉄道の高速化時代を切り開きました。その新幹線誕生から50年の歩みと、最近の状況やリニア中央新幹線等関連の話題を紹介します。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控えた今、新幹線とご自身や周囲、社会の変化を重ね合わせ、さらに未来に目を向けてみるのも有意義ではないでしょうか。



○受講料 無料(ただし資料代100円)

○メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)

○サテライト会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター

○ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

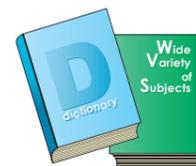
問合せ先 TEL 070-2685-3602(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)

180回

題名 元素の物語

日時 平成31年2月14日(木) 14:30から約1時間

講師 片田 元己 氏(いなぎICカレッジ理事長・東京都立大学・首都大学東京名誉教授)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成31年2月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は2月14日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	会場
第1166回	2月7日(木) 14:00から	気象情報を活用して、 家庭の予報官になろう	加納 裕二 氏 (元気象庁 気象研究所長)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1167回 ※	2月14日(木) 14:30から	元素の物語	片田 元己 氏 (いなぎICカレッジ理事長・東京都立大学・ 首都大学東京名誉教授)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分)
第1168回	2月21日(木) 14:00から	IOT・5G・多言語など	薮 昭男 氏 (YRP研究開発推進協議会会長・ (株)中央コリドー)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩8分)
第1169回	2月28日(木) 14:00から	古くなった給排水管との つきあい方	桧山 祐一 氏 (NPO法人 匠リニューアル技術支援協会理事)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1167回は、第180回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)